

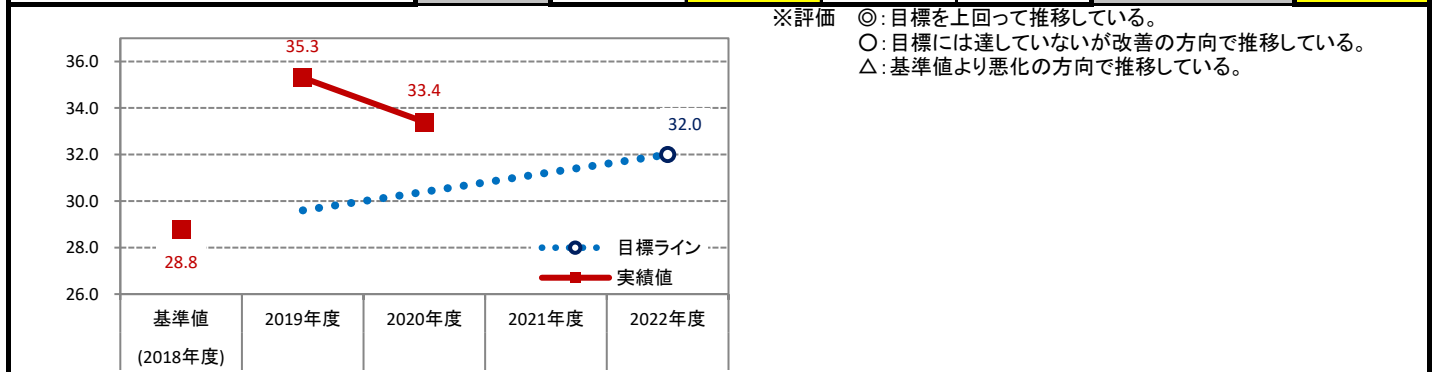
分野別政策	③子育て	政策の方向性	2 地域全体で取り組む多様な子育て支援
施策	2) 多様なニーズに対応した子育て支援の充実		
主管部名	健康こども部	主管課名	こども家庭課
		関係課名	企画課・健康増進課・学務健康課

総合評価 (ロジックモデル)							
インパクト		アウトカム		アウトプット		インプット	
指標	総合評価	指標・成果	個別評価	総合評価	取組内容	計画事業	成果
・子育てしやすいまちだと感じる子育て世帯の市民の割合: 46.8% ・出生率(人口1,000人あたり): 6.8	○	・子育てに係る負担が軽減されていると感じる子育て世帯の市民の割合 基準値 28.8% 実績値 33.4% 目標値 32.0%  【定性評価】 ・子ども・子育て会議委員から、安心して子どもを預けることができるよう一時預かりの情報がもっとあったほうが良いとの意見がありました。 ・市民から、地域子育て支援拠点事業について、多くの支援を受け感謝している。開催イベントも子どもたちが何度も参加するほど魅力的な内容だったとの意見がありました。	◎	○	・子育て中の家庭が安心して子育てに取り組むことができるように、保育料や医療費にかかる負担を軽減するとともに、経済的負担の大きい多子家族には、学校給食費についても支援します。 ・子育てに係る不安の軽減を図るために、駅前こどもの広場や地域子育て支援センターなどで保護者同士のコミュニケーションを図ります。 ・家庭の問題等が子どもの不利益につながらないように相談支援を行います。 ・若い世代に広く子育て施策を知ってもらうため、利用しやすい情報提供体制を整え、積極的に子育て支援情報を発信します。	①保育料の軽減 ②子ども医療費給付事業 ③小児インフルエンザ・おたふくかぜ予防接種費用助成事業 ④多子家族学校給食費支援事業 ⑤母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ⑥駅前こどもの広場運営事業 ⑦地域子育て支援センター事業 ⑧家庭児童相談事業 ⑨ひろさき子育てPR事業 ⑩養育支援訪問事業(緊急育児家事援助事業) ⑪地域共生社会実現サポート事業(再掲)	○ ○ ○ ○ ○ △ ○ ○ ○ △ ◎

アウトカム		定性評価
<b>「対象者(受益者)」</b> ・市民全般 ・子育て中の保護者と子ども ・教育、保育等関係事業者等	<b>施策により「期待する成果」は何か</b> ・多様化する子育て世代の抱える問題に対し、相談体制の確保や、各種の軽減・助成制度により、子育てに係る精神的・経済的な負担が軽減されます。	評価内容 ・子ども・子育て会議委員から、安心して子どもを預けることができるよう一時預かりの情報がもっとあったほうが良いとの意見がありました。 ・市民から、地域子育て支援拠点事業について、多くの支援を受け感謝している。開催イベントも子どもたちが何度も参加するほど魅力的な内容だったとの意見がありました。

※評価 ◎: 大いに評価できる。 ○: 概ね評価できる。 △: 課題がある。

指標名	基準値	実績値一覧					目標値		指標の定量評価
	2018年度	2019年度(2020年度)	2020年度(2021年度)	2021年度(取得年度)	2022年度(取得年度)	2022年度	(方向)		
子育てに係る負担が軽減されていると感じる子育て世帯の市民の割合(%)	28.8	35.3	33.4			32.0	↑	◎	



分野別政策	③子育て	政策の方向性	2 地域全体で取り組む多様な子育て支援
施策	2) 多様なニーズに対応した子育て支援の充実		
主管部名	健康こども部	主管課名	こども家庭課
		関係課名	企画課・健康増進課・学務健康課

■ 定性・定量分析を踏まえた施策評価 ◎: 大いに評価できる。 ○: 概ね評価できる。 △: 課題がある。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業や駅前こどもの広場運営事業については、利用者も多く、子育て世代の市民に定着しています。</li> <li>・児童家庭や婦人に関する家庭全般に関する相談件数は増加していますが、関係機関との連携などにより、事態把握と事案の早期発見に努めながら適時適切な支援を行うことができました。</li> <li>・若い世代に広く子育て支援に関する情報を周知するため、子育て支援施策のウェブサイトを運用するとともに、来所できない妊産婦等の相談機会を確保するためオンライン相談を実施しました。</li> <li>・(一社)みらいねっと弘前との連携により新しい形での支え合いの地域づくりを推進することができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、駅前こどもの広場や子育て支援センターの機能及び講座やイベントの中止等が余儀なくされ、早期に通常の状態に戻ることが望まれます。</li> <li>・育児に対する経済的負担軽減、健康の保持・増進、不公平感の是正を図り、子どもの健やかな育ちを保证するため、すべての区分における所得制限の撤廃(高校生は入院費用のみ対象)について検討する必要があります。</li> </ul>

**事中評価**

一次評価

- ・駅前こどもの広場や子育て支援センターについては、隣接する子育て世代包括支援センターと、気になる親子についての情報共有を行いながら、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちの促進を図るための講座・イベント等を実施しており、引き続き利用時間と人数の制限、また消毒作業を行うなど感染症予防対策を徹底しながら、子育て支援拠点施設として事業を実施していきます。
- ・こども医療費給付事業等(「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」を含む)の各種給付事業についても、支給に遅れが生じないように、計画的に取り組んでいます。

**事業の見直しの方向性(事業の改善のみならず、事業の廃止・縮小、より効果的な事業への組替・変更を含む。)**

- ・多様化する子育て世代が抱える問題に対し、感染症の影響も踏まえ、一層の相談体制を確保し、各種の助成や給付制度等を活用し、子育てに係る精神的、経済的な負担を軽減していきます。
- ・ひとり親を含むすべての子育て世帯を対象とした総合的な支援への機能向上を図るため、既存事業の拡充と新たな取り組みを実施していきます。

二次評価

分野別政策	③子育て	政策の方向性	2 地域全体で取り組む多様な子育て支援
施策	2)多様なニーズに対応した子育て支援の充実		
主管部名	健康こども部	主管課名	こども家庭課
		関係課名	企画課・健康増進課・学務健康課

アウトプット ← インプット

No	事業名	インプット				アウトプット	成果	方向性	
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度				
①	保育料の軽減	予算額	392,029	237,592	237,592	237,592	児童1人につき、国基準保育料の約4割相当の月額約1万円の市独自の軽減を行い、保護者の経済的負担の軽減が図られました。	○	
		決算額	447,777	253,251				活動結果	維持
		特定財源							
		一般財源	447,777	253,251					
②	子ども医療費給付事業	予算額	322,157	342,445	342,445	342,445	所得制限を超えない世帯の未就学児、小・中学生の通院・入院費用及び高校生の入院費用を助成したことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。	○	
		決算額	290,140	279,660				活動結果	維持
		特定財源	65,650	81,422					
		一般財源	224,490	198,238					
③	小児インフルエンザ・おたふくかぜ予防接種費用助成事業	予算額	37,713	37,467	37,467	37,467	小児インフルエンザ予防接種は、接種費用2回分を助成し、接種者数は延べ10,969人となりました。おたふくかぜ予防接種は、接種者数1,908人(対前年度107人増)となりました。	○	
		決算額	36,879	64,783				活動結果	維持
		特定財源		20,604					
		一般財源	36,879	44,179					
④	多子家族学校給食費支援事業	予算額	3,375	3,630	3,630	3,630	事業も4年目となり、内容が浸透されてきたほか、学校を通じて保護者への周知を確実に実施してきた効果もあり、申請件数及び認定率は年々増加傾向にあります。	○	
		決算額	2,326	3,055				活動結果	維持
		特定財源	2,326	3,055					
		一般財源		0					
⑤	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	予算額	14,046	20,030	20,030	20,030	12人を支援し、うち6人が修了しました。生活費の負担軽減を図ることで、修学期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を提供しました。	○	
		決算額	14,128	13,903				活動結果	拡充
		特定財源	10,596	10,426					
		一般財源	3,532	3,477					
⑥	駅前こどもの広場運営事業	予算額	73,324	65,269	65,269	65,269	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援センター機能及び講座・イベント共に休止期間があり、また、再開にあっても時間と人数を制限しながらの実施となったため、利用者数が大幅に減少しました。	△	
		決算額	59,066	58,971				活動結果	維持
		特定財源	4,467	9,666					
		一般財源	54,599	49,305					
⑦	地域子育て支援センター事業	予算額	24,933	25,558	25,558	25,558	身近な地域の子育て支援機能の充実により、子育ての不安感の緩和、子どもの健やかな育ちの促進が図られました。	○	
		決算額	25,558	25,938				活動結果	維持
		特定財源	17,038	17,292					
		一般財源	8,520	8,646					

施策に紐づく計画事業

分野別政策		③子育て		政策の方向性				2 地域全体で取り組む多様な子育て支援				
施策		2)多様なニーズに対応した子育て支援の充実										
主管部名		健康こども部		主管課名		こども家庭課		関係課名		企画課・健康増進課・学務健康課		
施策に紐づく計画事業	⑧ 家庭児童相談事業	インプット				アウトプット				活動結果	成果	○
		予算額	3,621	4,274	4,274	4,274	児童養育問題や離婚等を含む家庭問題に関する相談に対し適切に対処しました。児童虐待の予防、早期発見、虐待防止のための支援について、関係機関と連携しながら個別ケース会議を実施することができました。	方向性	維持			
		決算額	3,614	4,338								
		特定財源	1,741	2,075								
	一般財源	1,873	2,263									
	⑨ ひろさき子育てPR事業	インプット				アウトプット				活動結果	成果	○
		予算額	732	731	731	731	子どもの年齢や妊娠中・子育て中など保護者の状況に合わせた施策により、子育て世帯が必要とする支援に結びつけることができました。来所できない妊産婦等の相談機会を確保するためオンライン相談を実施しました。	方向性	維持			
		決算額	732	1,232								
		特定財源		166								
	一般財源	732	1,066									
	⑩ 養育支援訪問事業(緊急育児家事援助事業)	インプット				アウトプット				活動結果	成果	△
		予算額		2,178	2,178	2,178	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容を検討しながらの実施となりました。育児家事援助については、定期的なヘルパー訪問への不安から利用申請に至らない方が多く、予定より少ない件数となりました。	方向性	維持			
		決算額		716								
		特定財源		476								
	一般財源		240									
	⑪ 地域共生社会実現サポート事業(再掲)	インプット				アウトプット				活動結果	成果	◎
予算額			500	500	500	(一社)みらいねっと弘前との連携による新しい形での地域づくりを推進することができました。また、子ども居場所づくり支援ネットワーク会議により子ども食堂運営者を支援するネットワークを築くことができました。	方向性	維持				
決算額			500									
特定財源												
一般財源		500										
計画事業合計(計画事業の総合評価)		予算額	871,930	739,674	739,674	739,674						
		決算額	880,220	706,347								
		特定財源	101,818	145,182								
		一般財源	778,402	561,165								